



横田 (2)



横田 (1)

こちらは、山里の春野町熊切(くまきり)の中羽根(なかはね)の集落。浜松市の北部にある天竜区春野町は、過疎化が進む。1950年台の3分の1、この10年で25%近くの人口減少率だ。

山里に暮らすお年寄りには、買い物や医療、自然災害など暮らしの不便さは大変だ。ひとり暮らしのお年寄り、高齢化で先の不安を感じているお年寄りはたくさんおられる。

けれども、山里暮らしの皆さんは芯がしっかりしておられる。なんとも逞しい。私などは全く足元に及ばず。

この横田久代さんは、92歳。ご主人は、93歳。お二人で、2本の杖をついて、急な坂道を、毎日散歩されている。

声をかける。「大根もっていくかあ」。「はい、ありがとうございます」。「生姜はどうだ」。「はい、ありがとうございます。嬉しいです」。こういうときは、わたしはまったく遠慮しない。そのほうが、喜ばれる。こうして、大根と生姜をたくさん頂いてきた。

山里のお年寄りは、健康寿命が長いようだ。もとより心身によい自然環境。食も豊かだ。日々、足腰が鍛えられる。畑仕事など、やるべき現役の事がたくさんある。もとより、子どもの頃からの山里暮らしで体の芯がしっかりしている。

浜松市北部生きがい特派員 池谷 啓